

## WEEK2 アクティブ・ラーニングの技法

### ワークシート目次

1. SESSION 1 Think-Pair-Share
2. SESSION 2 ジグソー法
3. SESSION 3 ポスターツアー
4. SESSION 4 ピア・インストラクション
5. SESSION D グループワーク こんなときどうする？
6. 各セッションの多肢選択課題一覧
7. 参考文献

### WEEK2 の目的と目標

**目的** 多様なグループワークの方法の特徴を理解し 実施方法を修得する

#### 到達目標

##### 次の方法の特徴と実施方法を説明できる

1. Think-Pair-Share
2. ジグソー法
3. ポスターツアー
4. ピア・インストラクション





## 1. SESSION 1 Think-Pair-Share

下記はこのセッションで使う Question です。動画において適宜使用箇所ではテロップがながれますので、一緒に考えてみましょう。

### W2.S1.Question1

Think-Pair-Share という方法はどのような方法だと思いますか。まずは訳してみましょう。

### W2.S1.Question2

Think-Pair-Share は下記の観点から考えるとどれに相当するでしょうか。該当すると思うところを○で囲んでみましょう。

#### 目的に応じて手法を選ぶ観点

- ❖【形態】 1人, ペア, グループ, 全体
- ❖【時間】 ~5分, 15分, 30分, 60分~
- ❖【構成】 単純, 複雑
- ❖【大人数講義】 ☆☆☆

### W2.S.1.Question3

グループワークでは、しばしば次のようなことが起こります。

「Think-Pair-Share をすると学生が雑談をはじめてしまいます。普段は真面目によく聞いてくれているのに..」

課題の設定という観点からどうしたらよいか、考えてみましょう。

**(あなたの考え)**

## 2. SESSION 2 ジグソー法

下記はこのセッションで使う Question です。動画において適宜使用箇所ではテロップがながれますので、一緒に考えてみましょう。

### W2.S2.Question1

ジグソー法は下記の観点から考えるとどれに相当するでしょうか。該当すると思うところを○で囲んでみましょう。

#### 目的に応じて手法を選ぶ観点

- ❖【形態】 1人, ペア, グループ, 全体
- ❖【時間】 ~5分, 15分, 30分, 60分~
- ❖【構成】 単純, 複雑
- ❖【大人数講義】 ☆☆☆

### 3. SESSION 3 ポスターツアー

下記はこのセッションで使う Question です。動画において適宜使用箇所をテロップがながれますので、一緒に考えてみましょう。

#### W2.S3.Question1

ポスターツアーは下記の観点から考えるとどれに相当するでしょうか。該当すると思うところを○で囲んでみましょう。

#### 目的に応じて手法を選ぶ観点

- ❖【形態】 1人, ペア, グループ, 全体
- ❖【時間】 ~5分, 15分, 30分, 60分~
- ❖【構成】 単純, 複雑
- ❖【大人数講義】 ☆☆☆

#### W2.S3.Question2

ポスターの共有方法について、ポスターツアーと「全体でグループごとに発表」とを比較したとき、ポスターツアーの長所／短所は何でしょうか？

(あなたの考え)

## 4. SESSION 4 ピア・インストラクション

下記はこのセッションで使う Question です。動画において適宜使用箇所をテロップがながれますので、一緒に考えてみましょう

### W2.S4.Question1

ピア・インストラクションはいつ頃考案されたものでしょうか。該当すると思うところを○で囲んでみましょう。

1. 1995～2000
2. 2001～2010
3. 2011～2014

### W2.S4.Question2

ピア・インストラクションは下記の観点から考えるとどれに相当するでしょうか。該当すると思うところを○で囲んでみましょう。

#### 目的に応じて手法を選ぶ観点

- ❖【形態】 1人, ペア, グループ, 全体
- ❖【時間】 ~5分, 15分, 30分, 60分~
- ❖【構成】 単純, 複雑
- ❖【大人数講義】 ☆☆☆

## 5. SESSION D グループワーク こんなときどうする？

先週、今週とアクティブ・ラーニングについて学習してきました。アクティブ・ラーニングの成功のためには、事前のグループワークのデザインが非常に重要です。今週のディスカッションでは、トラブルを回避するためにどうデザインすればよいかについて考えてみましょう。

### W2.D

以下に、アクティブ・ラーニングとしてグループワークを行う際に生じることが予想される問題の例を2つ挙げてあります。これらのうち一つを選び、これらが生じないようにする予防策と、生じた場合の対応策について考えてみましょう。

【トピック】日本の少子化問題の解決法

【設定】6人編成のグループ

(A) 話し合いに加わらず、内職をしている学生がいる。

(B) 一人だけが喋り続け、他の学生が全く発言できない。グループとしての提案はこの学生の意見だけになりそうである。

\* 【トピック】は変更不可，【設定】は変更可能です。

#### (予防策)

#### (対応策)

## 6. セッション課題一覧

ここでは、各セッションで出題された課題を再掲しています。復習等にお役立てください。

### W2-1 Think-Pair-Share の説明として、適切なものを全て選んでください。

- 1) まず「ペア」になり、共有・意見交換しながら考え、二人の「考え」を統一させていく活動のこと。
- 2) 一人で「考え」その後「ペア」になり、考えたことを共有・意見交換する一連の活動のこと。
- 3) 自分の意見をじっくりと持ってから議論に臨むのではなく、即座に自分の意見をまとめ、他者に語るができるようにするためのトレーニングとして適している。
- 4) 「ペア」で作業をしたあと、より大きなグループで議論したり、意見交換をする場合もある。

### W2-2 ジグソー法の説明として、適切なものを全て選んでください。

- 1) ジグソー法はジグソーという研究者が考案したグループ活動支援方略であることから、このように呼ばれている。
- 2) ジグソー法の効果として、「自分しか知らない」知識を持っているという立場に全メンバーを立たせることで、各自に責任感が持たせられるとともに、互いが「一人一人意見が違う」ということを認め、許容する態度を育むことが期待される。
- 3) ジグソー法とは最初のグループで1つのことを学習したのち、各グループを解体して同一メンバーのいない新グループを再構成し、お互いが最初のグループで身につけた知識を持ち寄り、課題解決などをはかる活動。
- 4) ジグソー法とはグループのメンバーがそれぞれ異なる様々な知識を持ち寄り、議論することを通して、どの人の知識が正しいのかを考察する活動。

### W2-3 ポスターツアーの説明として、適切なものを全て選んでください。

- 1) 各ポスターをまわる際にジグソー法的なツアーグループの再構成を行うため、誰もがプレゼンテーションの機会を持つ。
- 2) 授業で取り扱うテーマについて、グループで調べ、ポスターにまとめた後、異なるポスターをつくった者同士で新しいグループを構成し、それぞれが自分が作成したポスターについて他のグループ・メンバーに説明していく活動。
- 3) 作業が比較的短時間で終わる活動であるため、授業が予定よりも早く進んだ際などの余った時間で簡単に行うことができる。
- 4) 授業で取り扱うテーマについて、グループで調べ、ポスターにまとめた後、そのポスターを全体で見せ合い、情報の量や正確さを競い合うゲーム的要素が多分に含まれた活動。



**W2-4 ピア・インストラクションについての説明として、適切なものを全て選んでください。**

- 1) E.マズールによって15年以上前に考案された、大規模講義に学生の議論を組み込んだアクティブ・ラーニングの方法である。
- 2) 提示された問題に対して、学生同士で話し合う時間が十分設けられてから最終的な解答を求める形式であり、知識獲得型というよりは深い議論を促す形の授業科目に合致する。
- 3) コンセプトテストと呼ばれる多肢選択問題の質が重要である。
- 4) 正答率に関係なく、クイズ形式でテンポ良く授業を進めていくことが肝心である。

## 7. 参考文献一覧

### (セッションにおいてとりあげた方法に関する文献等)

Mazur, M. (1997) Peer Instruction: A User's Manual, Prentice Hall

**ピア・インストラクションについて説明されています。**

杉江修治、関田和彦、安永悟、三宅なほみ(編) (2004) 大学授業を活性化する方法 玉川  
大学出版部

**ジグソー法が実践例として説明されています。**

エリザベス＝バークレイ、パトリシア＝クロス、クレア＝メジャー著 安永悟 監訳(2009)  
協同学習の技法——大学教育の手引き ナカニシヤ出版

**Think-Pair-Shareをはじめとする 30 の方法が所収されています。**

### (アクティブ・ラーニング全般に関する文献等)

バーバラ・グロス・デイビス著 香取草之助監訳、光澤舜明、安岡高志、吉川政夫訳 (2002)  
授業の道具箱 東海大学出版会

**“良い授業”をどうやって実施するかについて書かれた 定番といっても良い本です。**

池田輝政、戸田山和久、近田政博、中井俊樹 (2001) 成長するティップス先生——授業デ  
ザインのための秘訣集 玉川大学出版部

新井和広、坂倉杏介 (2013) アカデミック・スキルズ グループ学習入門——学びあう場づ  
くりの技法 慶応義塾大学出版会

**この2冊はインタラクティブな授業作りについてわかりやすく説明されています。**